

令和2年12月24日開催教育委員会会議  
(自由討議)教職員採用の在り方について

## 1 テーマ趣旨

長年培ったノウハウを習得されているベテラン教職員が、今後多くの退職予定者が見込まれている状況であり、今後5年間の市立小・中学校教職員の退職予定者数は、令和2年度末135人、令和3年度末182人、令和4年度末177人、令和5年度末167人、令和6年度末155人と令和3年度末に退職者のピークを迎えます。これに応じた採用数は、ここ数年は、学校事務職員を含め200人程度を予定しています。

しかしながら、志願者は減少傾向にあり、比例して、教員採用選考試験競争率は低下傾向にあります。このことは、教員の質の確保に直結する問題であり、志願者増のための対策を講じる必要があります。

教職員課では、次のような採用選考試験(第一次選考試験・第二次選考試験)を実施し、一部免除の創設や加点制度など志願者増に向けて改善を重ねています。

## 2 現在の採用選考試験の状況

### 【試験種目】

#### (1) 第一次選考試験

筆記試験(教職科目及び専門 A:全受験者、専門 B:特別支援)

実技試験(中学校教諭等:音楽【ピアノ等】・美術【作品制作等】・保健体育【水泳及び選択2種目】)

#### (2) 第二次選考試験

論文試験(全受験者)、模擬授業等(全受験者)、個人面接2回(全受験者)

実技試験(幼稚園教諭等【表現】・小学校教諭等【水泳】・中高共通英語【対話等】)

### 【一部免除】

#### (1) 熊本市の臨時的任用教員等

下記の①及び②の両方の条件を満たす者は、第一次選考試験の「教職科目」を免除する。

①令和2年(2020年)5月1日において、熊本市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校及び総合ビジネス専門学校(以下「熊本市立学校」という。)の臨時的任用教員(常勤講師、養護助教諭)又は育児休業代替任期付教員として任用されている者

②平成27年(2015年)4月1日から令和2年(2020年)4月30日までの期間内に、熊本市立学校の臨時的任用教員(常勤講師、養護助教諭)又は育児休業代替任期付教員として、通算で12箇月以上の勤務経験がある者

(2)熊本市以外の国公立学校教諭又は臨時的任用教員等

下記の条件を満たす者は、第一次選考試験の「教職科目」を免除する。

熊本市以外の国公立学校の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等の教諭並びに臨時的任用教員（常勤講師、養護助教諭）又は育児休業代替任期付教員として任用されている者又はされていた者で、平成22年（2010年）4月1日から令和2年（2020年）4月30日までの期間内に、継続して3年以上の勤務経験（同一の任命権者に限る。休職及び育児休業等の期間を除く。）がある者

(3)民間企業等勤務経験者

下記の①又は②のいずれかの条件を満たす者は、第一次選考試験の「教職科目」を免除する。

①法人格を有する民間企業又は官公庁等の常勤の社員・職員として、平成22年（2010年）4月1日から令和2年（2020年）4月30日までの期間内に、継続して3年以上の勤務経験（同一の企業等に限る。休職及び育児休業等の期間を除く。）がある者  
※「常勤の社員・職員」とは、フルタイム勤務で、月給制（年俸）を受けている社員・職員のことを指し、有期雇用（派遣社員、契約社員等）を含む。非常勤や時間給での勤務の場合は該当しない。

②独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく「青年海外協力隊員」として、平成22年（2010年）4月1日から令和2年（2020年）4月30日までの期間内に、2年以上派遣された者

※私立学校教員、学校栄養職員は、民間企業等勤務経験者に該当する。

※経験年数は、その月で1日でも任用（雇用）があった場合は1箇月と数える。

※一部免除の可否については、後日送付する受験票で通知する。

【加点制度】

小学校教諭等（一般、特別支援教育推進）区分において、加点申請をし、以下の要件を満たした場合は、第一次選考試験において5点を加点する。

加点要件（次の①又は②いずれかを有している者）

① 英語検定試験において、CEFR B2相当以上の英語資格を有する者

② 中学校教諭若しくは高等学校教諭の普通免許状（英語）を有している者

(参考) 志願者の推移(平成 24 年度～令和 2 年度)

熊本市立学校教員採用選考試験、受験者数と実質倍率の推移

※倍率は、受験者数÷合格者数(小数第2位を四捨五入)

校種・職種	H24° 実施 (2012年度実施)	H25° 実施 (2013年度実施)	H26° 実施 (2014年度実施)	H27° 実施 (2015年度実施)	H28° 実施 (2016年度実施)	H29° 実施 (2017年度実施)	H30° 実施 (2018年度実施)	R1° 実施 (2019年度実施)	R2° 実施 (2020年度実施)	
幼稚園 教諭	受験者	-	-	59	47	44	35	22	20	
	合格者数	-	-	3	3	3	3	3	2	
	倍率	-	-	19.7	15.7	14.7	11.7	7.3	10.0	
小学校 教諭等	受験者	308	304	344	441	386	347	327	331	307
	合格者数	27	47	45	110	80	70	107	109	125
	倍率	11.4	6.5	7.6	4.0	4.8	5.0	3.1	3.0	2.5
中学校 教諭等	受験者	257	337	369	404	378	335	295	278	271
	合格者数	27	47	38	50	41	30	43	49	57
	倍率	9.5	7.2	9.7	8.1	9.2	11.2	6.9	5.7	4.8
高等学校	受験者	-	20	31	24	-	14	9	6	-
	合格者数	-	5	3	2	-	2	1	1	-
	倍率	-	4.0	10.3	12.0	-	7.0	9.0	6.0	-
養護教諭	受験者	27	55	58	59	52	75	54	50	53
	合格者数	1	7	7	5	7	8	8	9	8
	倍率	27.0	7.9	8.3	11.8	7.4	9.4	6.8	5.6	6.6
栄養教諭	受験者	10	17	16	26	18	29	19	22	17
	合格者数	1	2	2	2	2	3	3	3	3
	倍率	10.0	8.5	8.0	13.0	9.0	9.7	6.3	7.3	5.7
合 計	受験者	602	733	818	1,013	881	844	739	709	668
	合格者数	56	108	95	172	133	116	165	174	195
	倍率	10.8	6.8	8.6	5.9	6.6	7.3	4.5	4.1	3.4